



本願寺山陰教堂本堂



第 27 号

山陰教区
寺族婦人会連盟

題字：鷺谷良子

多くの出会いに感謝を込めて

山陰教区寺族婦人会連盟委員長

平尾 雅子
(益田組 光明寺)

この度、令和6年度より3年間山

と思っております。

陰教区寺族婦人会連盟の委員長を務めさせていただくことになりました。

昨年10月に邑南町で開催された

前任の委員長さまより「ご縁が増えますよ」のお言葉をいただき、このような機会はそうそうない、と思ひ引き受けさせていただきました。

今から30年前、京都の中央仏教学

院に災害ボランティア

院在籍中のことですが、授業前には必ず「無上甚深微妙の法は、百千萬劫にも遇い値うこと難し。我今見聞し受持することを得たり。願わくは如来の真実義を解したてまつらん」を唱和しておりました。昨年、ある

委員長の重責を賜りましたが、これからも多くのご縁に遇わせていただき、皆さまと共に念仏の輪が広まるよう精進させていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

この『開講偈』を唱和するご縁に遇い、改めて今しかないと思ひ長年勤務の仕事を退職いたしました。

合掌

様々なご縁をいただくなかで、同

じ山陰教区寺族として、また寺院を護持させていただく者として、お念

仏の喜びを共有させていただけたら

若寺族婦人研修会

期日：10月6日(日)
会場：阿須那公民館・はすみ文化プラザ(邑南町)

「若寺族婦人研修会に参加して」

千須賀組 永照寺 吉川礼子

2024年10月6日(日) 令和6年度若寺族婦人研修会が開催されました。空模様が心配されるなか、委員の皆さまをはじめ総勢26名の方が、千須賀組内の邑南町まで遠路足を運んでくださいました。

今回の研修会は千須賀組が担当させていただくこととなり、高橋会長の提案で災害ボランティアについての講演となりました。近年は、毎年国内のどこかで大雨や地震等が発生し、ニュースで惨状が伝えられる度に胸が痛みます。しかし、テレビ画面の向こう側の話ではなく、自分が同じように被災したとしたら、どんな対応ができるのか、と考えてみてなかなかイメージすることも難しいものです。

この度は、本願寺広島別院から芸教区沼田組浄行寺の坂山顕之先生に、「災害支援から学ぶ」～お寺でできること～と題して、ご講演いただきました。浄土真宗本願寺派では、災害が発生した際、当該教区に災害支援セ

ンターが設置されており、現地でボランティアセンターの立ち上げ、支援のコーディネートが行われています。坂山先生から令和6年1月に発生した能登半島地震をはじめ、豪雨災害における現地の様子を、実際の写真も交えながらわかりやすくお話しいただきました。ボランティアに参加するだけでなく、正しい心構えを持つことがとても重要なことだと、改めて学ばせていただきました。

併せて、被災地の寺院について、被災されていることに加えて、避難や支援の活動拠点として役割を担われたケースのお話を伺いました。日ごろから多くの方が集まることができるスペースを持つ寺院は、避難所として利用するには良い場所であるとは考えられます。しかし、自身も被災され身心の疲労のなか、ご門徒の方がただでなく、地域住民へ広く開放されたということは、大変な決断だったと思います。自分さえ良ければいいということ

ではなく、ご縁の中で生かされている身として、お互いに励まし合いながら、地域の抛りどころとして対応されたことは、宗門寺院として大切な役割を果たしていただいたと思います。災害に備えることの大切さ、何ができるのかを少しずつではありますが、考えていく大変良い機会になりました。また開催にあたり、教区の寺族婦人会の役員の方、事務局の方には大変お世話になりました。この度のご縁に感謝いたします。



若寺族婦人研修会のようす

2023(令和5)年度
2024(令和6)年度
ダーナ献金のご報告

ダーナ献金をお寄せいただいた皆様

鳥取因幡組寺族婦人会 様
松江組寺族婦人会 様
出雲南組寺族婦人会 様
飯南組寺族婦人会 様
大田中組寺族婦人会 様
大田西組寺族婦人会 様
佐波組寺族婦人会 様
川本組寺族婦人会 様
千須賀組仏教婦人会 様
江津組寺族婦人会連盟 様
浜田組寺族婦人会 様
鹿足組寺族婦人会 様
若寺族婦人研修会参加者の皆様

より合計226,900円をお預かりしました。

災害発生時等の際に様々な形で支援できる資金として、今後も皆様のご協力をお願いいたします。

山陰教区寺族婦人会連盟
新役員名簿

任期：2024(令和6)年4月1日～
2027(令和9)年3月31日

各組代表委員

ブロック	組	氏 名	所属寺
鳥 取	鳥取因幡	佐々木 鏡子	光輪寺
	鳥取伯耆	妙 泉 直子	善正寺
出 雲	松 江	舟 谷 法子	勝願寺
	出 雲	佐々木 知江三	覚専寺
	神 門	亀 井 京子	清龍寺
	出雲南	龍 谷 直美	専応寺
	飯 南	熊 谷 理恵	一念寺
石 東	大田東	生 越 雅子	善林寺
	大田中	小笠原 良子	満行寺
	大田西	三 明 ひろよ	照善坊
邑 智	佐 波	渡 邊 孝子	専教寺
	川 本	森 山 弘恵	龍安寺
	千 須 賀	高 橋 千登世	高善寺
	邑智東	高 倉 紀子	西善寺
石 西	邑智西	津 田 浩子	天蔵寺
	江 津	平 田 孝子	正泉寺
	浜 田	藤 澤 真紀子	正念寺
	三 隅	川 本 みやび	龍光寺
	益 田	平 尾 雅子	光明寺
	鹿 足	朋 澤 公香	誓立寺

連盟役員

役 職	組	氏 名	所属寺
委員長	益 田	平 尾 雅子	光明寺
副委員長	神 門	亀 井 京子	清龍寺
副委員長	千 須 賀	高 橋 千登世	高善寺
常任委員	鳥取伯耆	妙 泉 直子	善正寺
常任委員	出 雲	佐々木 知江三	覚専寺
常任委員	大田東	生 越 雅子	善林寺
常任委員	大田中	小笠原 良子	満行寺
常任委員	邑智西	津 田 浩子	天蔵寺
常任委員	江 津	平 田 孝子	正泉寺
監 査	松 江	舟 谷 法子	勝願寺
監 査	浜 田	藤 澤 真紀子	正念寺

寺族婦人研修会

期日：2月19日(水)

会場：本願寺山陰教堂

雪が降りしきるなか、令和6年度の寺族婦人研修会を教区の勤式研修会と併催という形で開催いたしました。ご講師に、本願寺の仏華を立てておられます、有限会社花新の水本高史先生に京都よりお越しいただきました。

仏華は仏さまの慈悲の心を表し、莊厳においても非常に重要となり、お寺では、法要や法事、行事の際に仏華を立てることが必要となります。この度の研修会には、興味を持たれた方や技術向上を目的とされた方など、先生が驚かれるほど参加者も多く、参加された皆さんも、メモを取りながら、また

時には写真を撮りながら熱心に話を聞いておられました。

講義では、仏華の立て方の基本について、生ける順番や長さ、バランスなど、実演を交えて一つひとつ丁寧に説明いただきました。また、時間短縮のための方法や花をとめるためにストローを使うといったちょっとした小技や、プロならではの技術なども教えていただき、参加者からも非常に勉強になったとの声を多くいただきました。

この度の研修会は、オンラインも併用し開催いたしました。実際に生けているところを見ていただいたり、先生

の手元が見えるようにするため、実践運動オンライン担当の方のご協力を得て実施いたしました。研修会終了後、オンラインで参加されていた方より、とても見やすく良かったとお声をいただきました。今後も、遠方の方やなかなか現地まで行くことができない方にもご参加いただけるよう、工夫した形で研修会を開催できればと思いますので、是非ご参加ください。また、こんな研修会をしてほしいなどのご意見がございましたら、事務局にご連絡くださいますようお願いいたします。



寺族婦人研修会のようす

各組紹介

大田中組 (満行寺 小笠原良子)

私たち大田中組寺族婦人会は20か寺で活動をしています。活動としては、総会、組内の寺院を順番にお参りする寺研修で、会所の住職さまのお話を聞いて、仏教讃歌の練習をしています。また、大田中組主催の実践運動研修会、教区の寺族婦人研修会にも参加しています。3年(役員任期中)に1度は組外にも研修に出かけます。

昨今、寺院を巡る環境が厳しいなか、浄土真宗の一番大切なお聴聞をさせていただき、お互いにお寺のあり方、寺族婦人のあり方を考えながら、楽しくいろいろな意見を聞かせていただいております。

世界遺産の石見銀山遺跡、馬路の琴が浜、仁摩サンドミュージアムなど、観光地もあります。研修旅行を兼ねて大田中組の寺院へお参りください。



川本組 (龍安寺 森山弘恵)

川本組の主な活動としては、総会と研修会(昨年は広島県の芸北の真宗寺院に参拝し、イタリアンのお齋いただきました)を開催しています。普段なかなか集まることができないので、研修会ではおもいきり笑い、話し、お寺での悩みなどを言い合える親しみやすい会を開催しています。

川本町は島根県のほぼ中央に位置しており、江の川が町を貫流しています。川本の特産にはエゴマがあり、エゴマを使った「かりんとう」は絶品です。また、「イズモコバイモ」といった島根県にだけ自生するユリ科の大変可憐な花が咲きます。一つひとつはとても小さな花ですが、川本の谷戸という地区にはこの花が群生しており、県内外からたくさんの愛好家が訪れる場所となっています。3月頃に咲く花ですので是非お立ち寄りいただけたらと思います。

出雲組 (覚専寺 佐々木知江三)

出雲組は、山陰教区ではほぼ中間どろに位置しており、そのなかで私たち寺族婦人会は年二回の研修会を開催しています。組内寺院を会所に、ご住職さまをご講師として勉強会をさせていただいたり、近年では組外寺院への参拝、教区主催の常例法座「燈映会」に参拝するなどの活動を行っています。研修会後の茶話会は、お互いのお寺の情報交換ができる唯一の場でもあり、楽しいひと時です。

組内それぞれのお寺の周辺には特色が多くあり、平田地域は海に面しておりうづぶるいのりは有名で、お正月のお雑煮には欠かせません。また、あだこやま山公園の高台にある平田本陣記念館では、年間さまざまな催しがあり、林木町にあるとびがす鷲ヶ巣本陣では四月～六月にかけて、しょうぶ園で色鮮やかな見事な花しょうぶを楽しめます。他にも斐川町の荒神谷遺跡、お肌がスベスベになる湯の川温泉、加茂町の岩倉遺跡など魅力ある場所も多く、大東町のうしお海潮温泉は、初夏に赤川公園のゲンジボタルがとても綺麗です。

組内どこへ行ってもお楽しみスポット満載です。どうぞ皆さまお越しくださいませ。



浜田組

ふじさわ まき こ
(正念寺 藤澤真紀子)

私たち浜田組は、現在18か寺の坊守を中心に、前坊守、若坊守と協力しながら活動をしています。

年間の主な活動として、組内研修を2回、組外研修を1回行っており、組内研修では各寺院を会所として会所住職のご法話を聴聞し、その後は会の活動についての話し合いや情報交換などを行っています。

組外研修では、参拝や観光も含めた研修を行っており、耕三寺の参拝と平山郁夫美術館の鑑賞に出かけたり、山陰教区の研修と兼ねて実施したりしており、互いの交流も深めています。

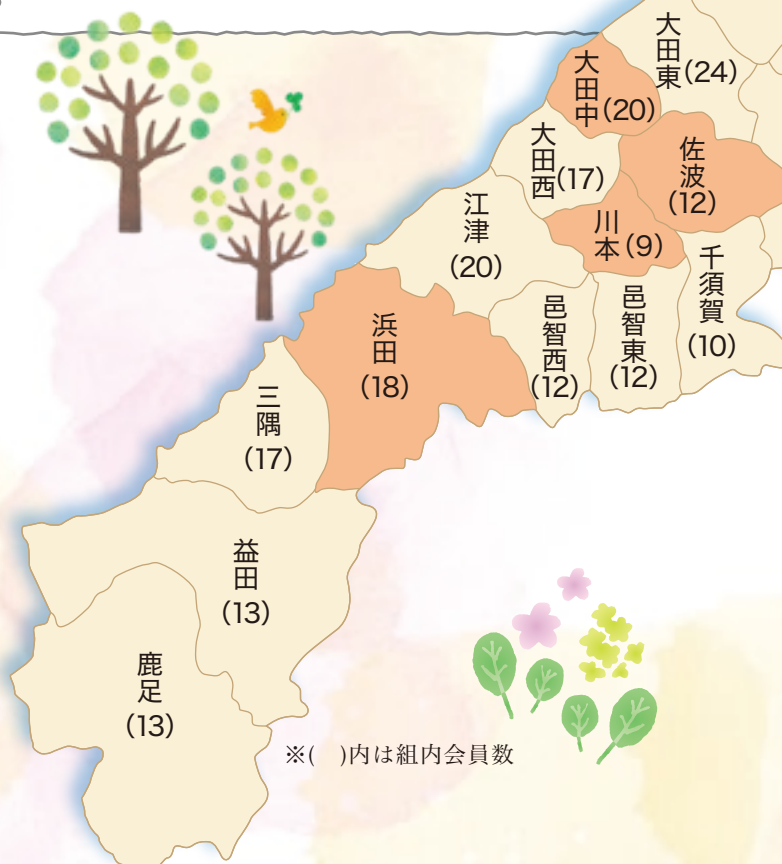
浜田組は海風が心地よい地域から、雪深い地域までと範囲も広く、有福や美又をはじめ温泉地も多くあり、のんびりゆったりと過ごせます。是非皆さんでいらしてください。お待ちしております。

佐波組 (専教寺 渡邊孝子)

佐波組の中で寺族婦人会会員がおられる寺院は12か寺ですが、坊守さまなどが遠方で生活しておられる寺院も多く、実際に共に活動できる会員は9名くらいです。コロナ禍の中で活動も控えていましたが、一昨年から総会と研修会をそれぞれ開催しています。総会は、組内寺院を会所に開催し、会議に併せてご住職のご法話を聴聞しています。また、研修会は、寺院運営等の情報交換と親睦を兼ねて、日帰りで行ける範囲の寺院等を訪ね、研鑽を深めると共に美味しい食事のご縁もいただくなどの活動を行っています。

美郷町は、行政により様々な努力がなされているものの人口減少と高齢化が進んでおり、その影響は寺院運営にも大きな影を落としています。本堂や庫裏の老朽化等将来への不安を感じながら、何とか自分の代は維持したいと思いでご報告をしています。

そうした不安の多いなかですが、会員の中には自坊で国籍を限らない人を対象に日本語教室を開設したり、幅広い年代の方に口腔衛生指導を行うなど、活発に活動をされる坊守さんもおられます。佐波組の寺婦活動はささやかな活動ですが、大切な会にしていきたいと考えています。



2023(令和5)年度 山陰教区寺族婦人会連盟 一般会計 歳計決算
歳入の部

款 項	費 目	決算額	予算額	対比△減	説 明
1	1 前年度繰越金	510,144	510,144	0	令和4年度繰越金
2	会費	450,000	454,500	△ 4,500	
1	1 本年度会費	450,000	454,500	△ 4,500	1,500円×300単位分
2	2 過年度会費	0	0	0	
3	1 助成金	200,000	200,000	0	教区からの助成金
4	1 回金	0	0	0	特別会計より回金
5	1 参加費	911,200	950,000	△ 38,800	若寺族婦人研修会 24,000円 寺族婦人研修会 887,200円
6	1 雑収入	1,003	5,356	△ 4,353	懇志、預金利息
	合計	2,072,347	2,120,000	△ 47,653	

歳出の部

款 項	費 目	決算額	予算額	対比※超過	説 明
1	1 研修費	1,300,632	1,350,000	49,368	若寺族婦人研修会 231,682円 寺族婦人研修会 1,068,950円
2	1 会議費	346,298	350,000	3,702	各組代表者会2回・ 常任委員会3回 寺婦のひろば編集委 員会・会計監査
3	1 事務通信費	79,090	70,000	※ 9,090	郵券料
4	1 教化費	99,000	110,000	11,000	寺婦のひろば第26号 発行
5	1 回金	50,000	50,000	0	特別会計 第2款へ回金
6	1 諸費	0	40,000	40,000	
7	1 予備費	0	150,000	150,000	
	合計	1,875,020	2,120,000	244,980	

歳 入	2,072,347
歳 出	1,875,020
差引残額	197,327

※翌年度へ繰越

2023(令和5)年度 山陰教区寺族婦人会連盟 特別会計 歳計決算
歳入の部

款	費 目	決算額	予算額	対比△減	説 明
1	前年度繰越金	523,771	523,771	0	令和4年度繰越金
2	回金	50,000	50,000	0	一般会計 第5款1項より回金
3	雑収入	4	229	△ 225	預金利息
	合計	573,775	574,000	△ 225	

歳出の部

款	費 目	決算額	予算額	対比※超過	説 明
1	回金	0	0	0	
2	翌年度繰越金	573,775	574,000	225	令和6年度繰越金
	合計	573,775	574,000	225	

2023(令和5)年度 山陰教区寺族婦人会連盟 ダーナ会計 歳計決算
歳入の部

款	費 目	決算額	予算額	対比△減	説 明
1	前年度繰越金	116,195	116,195	0	令和4年度繰越金
2	ダーナ献金	150,300	70,000	80,300	各組寺婦より (11組)
3	回金	0	0	0	一般会計より回金
4	雑収入	1	3,805	△ 3,804	
	合計	266,496	190,000	76,496	

歳出の部

款	費 目	決算額	予算額	対比※超過	説 明
1	ダーナ活動費	100,000	50,000	※ 50,000	令和6年能登半島地震 災害義援金
2	翌年度繰越金	166,496	140,000	※ 26,496	令和6年度繰越金
	合計	266,496	190,000	※ 76,496	

2024(令和6)年度 山陰教区寺族婦人会連盟 一般会計 歳計予算
歳入の部

款 項	費 目	2024年度予算	2023年度予算	対比△減	説 明
1	1 前年度繰越金	197,327	510,144	△ 312,817	令和5年度繰越金
2	会費	450,000	454,500	△ 4,500	
1	1 本年度会費	450,000	454,500	△ 4,500	1,500円×300単位分
2	2 過年度会費	0	0	0	過年度会費
3	1 助成金	200,000	200,000	0	教区からの助成金
4	1 回金	0	0	0	特別会計よりの回金
5	1 参加費	150,000	950,000	△ 800,000	研修会参加費
6	1 雑収入	2,673	5,356	△ 2,683	預金利息等
	合計	1,000,000	2,120,000	△ 1,120,000	

歳出の部

款 項	費 目	2024年度予算	2023年度予算	対比△減	説 明
1	1 研修費	400,000	1,350,000	△ 950,000	研修会経費
2	1 会議費	300,000	350,000	△ 50,000	各組代表者会・常任委 員会・編集委員会など
3	1 事務通信費	90,000	70,000	20,000	郵券料・事務消耗品
4	1 教化費	110,000	110,000	0	寺婦のひろば調製
5	1 回金	50,000	50,000	0	特別会計へ回金
6	1 諸費	30,000	40,000	△ 10,000	諸費
7	1 予備費	20,000	150,000	△ 130,000	
	合計	1,000,000	2,120,000	△ 1,120,000	

2024(令和6)年度 山陰教区寺族婦人会連盟 特別会計 歳計予算
歳入の部

款	費 目	2024年度予算	2023年度予算	対比△減	説 明
1	前年度繰越金	573,775	523,771	50,004	令和5年度繰越金
2	回金	50,000	50,000	0	一般会計からの回金
3	雑収入	225	229	△ 4	預金利息等
	合計	624,000	574,000	50,000	

歳出の部

款	費 目	2024年度予算	2023年度予算	対比△減	説 明
1	回金	0	0	0	
2	翌年度繰越金	624,000	574,000	50,000	令和7年度繰越金
	合計	624,000	574,000	50,000	

2024(令和6)年度 山陰教区寺族婦人会連盟 ダーナ会計 歳計予算
歳入の部

款	費 目	2024年度予算	2023年度予算	対比△減	説 明
1	前年度繰越金	166,496	116,195	50,301	令和5年度繰越金
2	ダーナ献金	100,000	70,000	30,000	ダーナ献金
3	回金	0	0	0	一般会計よりの回金
4	雑収入	3,504	3,805	△ 301	預金利息等
	合計	270,000	190,000	80,000	

歳出の部

款	費 目	2024年度予算	2023年度予算	対比△減	説 明
1	ダーナ活動費	50,000	50,000	0	災害支援活動等
2	翌年度繰越金	220,000	140,000	80,000	令和7年度繰越金
	合計	270,000	190,000	80,000	

※残金は基金として翌年度へ繰越

編集後記

○過去の「寺婦のひろば」を読み返してみますと、その時代背景も見ることが出来ます。第22号(令和元年12月20日)では、山陰教区寺族婦人会連盟50周年記念大会が盛大に開催されたようすが掲載されました。しかし、第23号(令和3年3月31日)、第24号(令和4年3月31日)では、新型コロナウイルス感染症の影響で、すべての行事が中止となったことがよくわかり、同時に時が経つのは早いものであると改めて思いました。皆さまにも「寺婦のひろば」を通して、これまで寺族婦人会が歩んできた歴史、時代背景を学んでいただけるような、そして次の世代へと残していただけるような内容をお届けいたします。

○今号の表紙に本願寺山陰教堂の本堂の写真掲載しました。山陰教堂では、毎月21日(11月を除く)に常例法座「燈映会」を開催しております。(土日祝日の場合は平日に前倒し)時代とともに教堂へのお参りも少なくなってきたように思います。お寺や組で、ご門徒さまもお誘いいただき、是非お参りください。

(事務局)